



日本人妻の歯ざしり ~日本人の気配り~

本当の中国が見えてくる

先週、家の片付けをした。古いベッドや寝具の処分は、居住区の清掃員さんをお願いした。清掃員さんは、それらを引き取りに来た際、夫に「あんたの奥さんは、ゴミを正しく分別するし、ゴミ袋もしっかり結ぶ。リサイクル用の紙類も畳んで出す。こんなにきちんと言ったそうさ。」と見ていてくれたのかとちょっと嬉しくなったが、日本では当たり前のことだ。それでも、ここではゴミは毎日捨てていいし、ビン類の回収は汚れたままでもいい。日本よりはずっと簡単なのだ。

リサイクル可能な紙類の捨て方にも決まりはなく、箱は畳まなくてもいい。が、清掃員の夫婦が毎夜、段ボール箱を解体しているのを見るのと自分のゴミぐらいい何とかしやうという気になる。それに住民の中にも箱を畳んできれいにまとめて出す人はいる。今はほとんどの人が食品も生活用品もネットで買うので、この居住区200世帯で捨てられる宅配の箱の量は半端じゃないのだ。

日本ではゴミが散乱しないようにゴミ袋の口はしっかりと結び、空のスプレー缶には穴を開けたりする。ゴミ収集の人や環境への配慮だ。ゴミだけではなく、日本では普段の生活：買い物、電車やバスに乗る、車の運転：すべての場面でみんな周囲に気を配りながら暮らしている。もちろん、どの国もそうだろうが、その配慮の度合いは国によって違うように思う。日本人から見れば、中国人はあまり周囲を気にしないし、他人の目も気にしない。周囲を気にし、遠慮しすぎると、タイミングを逃したり、面倒なことが増えたり...ということも起こり、自分が損をするからか？それとも、そもそも周りが目に入っていないのだろうか？疑問だ。

先日地下鉄に乗っていて、地下鉄が以前より快適になったと感じた。静かで清潔になっただけじゃなく、席に争って座る人もいなくなった。しかし、こんな人はまだ存在した。ずーっとドアの前に立ち、駅に着くと下車する人の波に押し出されまいと足をふんばって

いる、という人だ。左右に避けることもせず、下車する客と一緒に降りて、また乗り込むということもせず、ずーっとドアの前に立ち続けている。自分が降りる人の邪魔にならないうことを、この人は気づかないのだろう。気配りといったものは人に教わったり、人の行為を見て初めて身につくものなのかもしれない。

日本にいる一人暮らしの母が、コロナ禍の四年前、姉のいる兵庫県西宮市に引っ越した。それで今、私の帰る場所は西宮市になった。今まで住んだことのない場所に「ただいま」と帰ることに最初は違和感があったが、何度が帰るうちにその辺りの地理も覚え、親しみも湧いてきた。親しみを抱いた一番の理由は、地域の方々がよく声をかけあうことだ。細い路地をすれ違うとき、バスを待っているとき、高齢の母と一緒に出かけるとき：様々な場面で私も声をかけてもらう。ちょっとした一言に人の心遣いが感じられて気分が和み、自分でも気軽に気遣いの一言がかけられたらと思う。

昔、日本で夫がこんな経験をした。「今日、エレベーターに乗った時、先に降りた人が外から手を伸ばして、私のために「閉まる」のボタンを押してくれたんだよ。びっくりしたけど、カッコ良かった！」この日本人らしい気配りに、夫が「カッコいい」と言ったことが嬉しく、心に残った。気配りに国境はない、日本流の気配りはこちらでも通用するに違いないのだ。

写真

「新年快樂！」2月17日は春節です。今年の休みは春節前後合わせて9連休です。中国ではお正月に当たる春節。もう「年夜飯」という年末の食事を開いたり、連休中の予定を立てたり、みんなの心はずいぶんお正月気分です。

1. 今年の「福の字」。良い年になりますように、という願いを込めて玄関などに貼ります。春節飾りは、ほとんどが赤。赤い実の置

物も買ってみました。(写真左上)

2. 「お年玉袋」。今年は午年なので馬の絵を選びました。夫の甥の息子が今年から小学生なので、お年玉の金額もアップ！上海ではお年玉の額がかなり高く、一か月の給料ぐらいい出す人もいます。写真上、中央

3. スーパーの一角に設けられた春節飾りコーナー。毎年ながら、この赤い飾りを見るのが春が来たなあと思います。(写真右上)

4. ショッピングモールの春節特設会場。伝統菓子や縁起物の屋台がぎっしり。連休中はたくさんの人で賑わっています。

5. うちの近くの肉屋さんの干し肉です。毎年冬になると肉屋さんでは干し肉やソーセージを作り、外の寒風に当てて干します。春節用の食材になります。

6. 今年は種類が豊富で、立派な魚も干してありました。始めは少々不気味でしたが、今では冬の風物詩です。



profile さねみつ じゅんこ
岡山県出身 上海市在住 家族：夫、犬1匹、猫2匹。

1989年 大学卒業後、教育・福祉関係の仕事に就く。1997年 中国人の夫と結婚。
1998年 夫の赴任で上海に引っ越し、上海済経大学で中国語を学ぶ。
2000年 日本語教師の仕事に就く。
2005年 上海同済大学大学院入学。
2008年 卒業。
2008-2011年 病気治療のため日本に帰国
2011年 上海に戻り、夫の経営する会社の工場勤務 今に至る



④



⑥



⑤